

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011 水嶋ヒロ脚本・出演、GIRL NEXT DOORのPVが 国際短編映画祭で優秀賞を受賞

2011年6月26日(日)に終了した、米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011」のミュージックShort部門において、水嶋ヒロ原作・脚本・特別出演、GIRL NEXT DOORのシングル「Silent Scream」(2011年4月13日発売)を映画的世界観で描いたPV「Silent Scream」が、優秀賞を受賞しました。



ミュージックShort部門優秀賞

『Silent Scream／サイレントスクリーム』

(小泉徳宏／GIRL NEXT DOOR「Silent Scream」／日本／15:00／2011)

GIRL NEXT DOOR11枚目のシングル「Silent Scream」のPVとして製作。自分の進む道に思い悩む主人公アキと謎の仮面の男が出会うことで、“本当の自分とは?”と世に問う。

原作・脚本・特別出演 水嶋ヒロさんのコメント

この度は、多大なるご評価を頂き誠に有難うございます。
GIRL NEXT DOORさんのミュージックビデオには、以前から大変刺激を受けておりました。そんな自分に、原作・脚本、さらには出演のお話を頂けたのは、とても光栄なことでした。その上、このような栄えある賞を頂戴し、本当に嬉しく思っております。主演の千紗さん、小泉監督をはじめ、この作品に携わった全ての方々と喜びを分かち合いたいです。
今後も「ショートショート フィルムフェスティバル」の益々のご発展を、心よりお祈り申し上げます。

GIRL NEXT DOOR

2008年9月デビュー。Vo.千紗、Key.鈴木大輔、Guit.井上裕治からなる3人組ユニット。最新のデジタルPOPサウンドに千紗のダンスや笑顔で世の中に“元気”と“活力”を与え続けている。

主演・千紗さんのコメント:

この度、「ショートショート フィルムフェスティバル」でたくさんの賞がある中、「ミュージックShort部門」で、私たちの作品が優秀賞を頂く事になり、本当に驚いています！そして、なによりも嬉しさと喜びで胸がいっぱいです。今回の作品は、小泉監督をはじめ、水嶋ヒロさんに脚本・出演まで携わって頂き、私にとってもすごく学ぶものも多く、刺激あるものになりました。そもそもミュージックビデオで自らが役を演じるドラマ仕立ての撮影は初めての事だったので、とても楽しみでした。そして、現場に入っても本当に温かいスタッフさんに囲まれて、監督とは何度も何度も納得いくまでやりとりさせていただきましました。
また、1週間という短期間ではありましたが、幼少に習っていたバレエを一生懸命練習し、皮がむけるほどトゥシューズを履き、無事撮影終了後バレエの先生と抱き合っただけ涙した瞬間は今でもハッキリと覚えています。この作品に関わった全ての方に感謝します。ありがとうございます。自分にしか分からない自分。誰にでもあると思います。そんな自分にしか分からない“心の叫び”に耳を傾けてみてください。この作品を通して、感じることは人それぞれだと思います。何か感じてもらえれば嬉しいです。

小泉徳宏監督

東京都出身。ROBOT所属。大学在学中に6作品の脚本・監督を手がけ、国内外の映画祭で高い評価を受ける。その後、2006年に『タイヨウのうた』、2010年には『FLOWERS』を手掛けている。

小泉監督のコメント:

映像は所詮、無形のもの。この数ヶ月、その事に無力感を感じてきました。でもこの先、人がそれを必要とする時がきっと来る。今回頂いた素晴らしい賞は、ボクにとっての狼煙です。本当に本当にありがとうございました。



<ミュージックShortとは？>

本映画祭では、音楽レーベル各社から正式にエントリーされた楽曲をもとに製作するオリジナルショートフィルム(ミュージックShortクリエイティブ)と、アーティストのオフィシャルミュージックビデオ(PV)で、ショートフィルムの世界観を持つ作品を「ミュージックShort」として紹介。新たなショートフィルムの形を探究してきました。昨年度は特別製作作品として、大黒摩季の名曲「あなただけ見つめてる」からインスパイアされ、黒髪姿の木下優樹菜が話題となった純愛ストーリー「ゆっきーな」や、土屋アンナの夏曲「Brave vibration」からインスパイアされた「ミステルロココ」なども世界プレミア上映しました。

<2011年度上映作品公募>

2011年8月1日(月)より、2012年開催に向けた上映作品の公募が開始となります。詳しい応募要項は、同日、映画祭HP上で発表となります。

映画祭HP: www.shortshorts.org

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年10月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。

また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞ノミネート監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などのヒット作を生み出すマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

ショートショート実行委員会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8 SSUビル4F

TEL:03-5474-8844 FAX:03-5474-8202 Mail:press@shortshorts.org

担当:菊地・高橋